

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	
	地域医療、福祉・介護、教育	○	観光・交流	◎
	地域コミュニティ・集落再生	○	環境	○
	地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		きだ さとる		
氏名		木田 悟		
所属	名称	一般財団法人日本スポーツコミッション		
	役職	代表理事		
連絡	住所 (職場)	〒166-0011 東京都杉並区梅里 2 丁目 1-19 ライブラフラット 701		
	連絡先	e-mail	kida[アットマーク]sportscommission.or.jp	
		TEL -	FAX -	
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴	<p>・大学の建築学科を卒業後、海外研修を経てシンクタンクに入所し(財務省の外郭団体)、まちづくりから国土政策に至る調査研究に従事(一級建築士免許取得)。</p> <p>・30 数年前に当時の国土庁の委託による「スポーツを核とした地域活性化に関する調査研究」をきっかけに「スポーツ」と「まちづくり、地域づくり」とを結びつけ、スポーツを活用した地域の活性化に資する調査研究や講演などを実施。</p> <p>・2009 年に現在の組織を関係者と設立し、「スポーツ」をキーワードにまちづくり、地域づくり、ひいては地方創生に資する調査研究や講演、あるいは執筆活動を行う。</p> <p>・2011 年に「地域におけるスポーツイベントの社会的効果に関する研究」で博士(工学)を取得。</p> <p>・自治体や国などからの調査研究等の受託、スポーツを活用したまちづくり・地方創生に関わる勉強会等の開催や各種アドバイス、あるいは執筆などを実施中。</p> <p>・2009 年度～2018 年度は東京大学大学院の共同研究員を、2016 年度は青森大学の客員教授を、2014 年度～2022 年度は日本大学理工学部の講師を、2020 年度～2022 年度は千葉工業大学創造工学部の講師を務めた。</p> <p>・2020 年度にはスポーツ庁の「地域スポーツ振興組織の在り方検討会」の座長を務めた。</p>			
著作・論文等	<p>・「地域におけるスポーツイベントの社会的効果に関する研究ーサッカーワールドカップにおけるキャンプ地を中心としてー」で博士(工学)を取得</p> <p>・東京大学出版会から「スポーツで地域をつくる」、「スポーツで地域を拓く」(共編著)、「スポーツで地域を動かす」(編共著)の 3 部作を発売</p>			



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>・「スポーツを活用したまちづくりに向けて」UP3 月号執筆(2023 年、東京大学出版会)</p> <p>・「新たなまちづくり・地域活性化手段としてのスポーツの活用」編集・執筆(2024 年、SCJ 発刊)</p>
取組概要	<p>●活動概要:スポーツを活用したまちづくり、地域づくり、ひいては地方創生に資することを目的として現在の組織を設立し、国や地方自治体、あるいは地域のスポーツコミッション等への各種アドバイスをはじめ、調査研究や講演・研究会・シンポジウムなどを実施中。</p> <p>●具体的活動:国や地方自治体等からの調査研究以外に以下の活動も展開中。</p> <p>・スポーツコミッション研究会等の開催:スポーツを活用したまちづくり、地方創生に資する勉強会をスポーツ庁や自治体等と連携して開催し、国の施策や事業などの紹介の他、先進的事例や地域、あるいは関連する活動等の紹介などを行っている(オンラインでも実施)。</p> <p>・スポーツコミッション連絡協議会の主宰:地域のスポーツコミッションや自治体及び類似活動を展開中の組織を中心に、協賛企業等と連携してスポーツを活用したまちづくり、地方創生に資するアドバイスや活動を実施中。</p> <p>・e スポーツや自転車、あるいはスポーツツーリズムを活用したまちづくり、地方創生に関わる勉強会なども実施中。</p> <p>・身近にスポーツに親しめる空間整備やシステム等の構築などによるスポーツを活用したまちづくり、地方創生に資するセミナーなども開催中。</p> <p>・2020 東京オリンピック・パラリンピックのレガシー継承組織としての「スポーツコミッション」のあり方に関わる研究会を実施中。</p>
メッセージ	<p>私がスポーツを活用したまちづくり、地域づくり、ひいては地方創生に資する調査研究を始めたのは今から 30 数年前です。</p> <p>その時代は、スポーツと体育との区別がほとんどなく、スポーツを活用したまちづくりなどはまれなケースでしたが、30 数年を経た現在では国においては、スポーツと体育は別な活動と認識されています。しかしながら、全国的にみるとスポーツの位置づけが未だ混在しており、スポーツが有する多様な役割や機能などが十分に活用されていません。</p> <p>とは言うものの、第三期スポーツ基本計画においては、「スポーツを活用したまちづくり、地方創生」が提唱されており、今後の日本における「スポーツ」は、少子高齢社会の進展の中で、その位置づけや有する機能や効果、特に社会的効果を活用したまちづくりや地方創生を地域の課題解決や人々の健康の維持・増進などと共に展開していくことが期待されています。</p>
関連ホームページ	http://sportscommission.or.jp/
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。